

# 吾妻山砂防通信



一足早く吾妻山には冬がやってきました。(H28.11.4撮影)

## 第50号

吾妻山  
火山活動情報

## 吾妻山の噴火警戒レベルが1に引き下げられました

吾妻山について、仙台管区气象台は、噴火の兆候が認められないことから、平成28年10月18日15時00分、火口周辺警報を解除し、噴火警戒レベルを「2」から「1（活火山であることに留意）」に引き下げました。

これに伴い、福島河川国道事務所では、平成26年12月に設置していた災害対策支部「火山災害：注意体制」を、同日解除しました。

なお、噴火警戒レベルは引き下げられましたが、大穴火口付近での熱活動や火山ガスの噴出は続いています。

引き続き、活火山であることに留意し、火山活動の推移には十分注意が必要です。

吾妻山 浄土平



福島県福島市土湯温泉町 浄土平

↑吾妻山ライブカメラ  
(福島河川国道事務所HP)

種別	噴火警戒レベル(※)	
噴火警報	5	避難
	4	避難準備
火口周辺警報	3	入山規制
	2	火口周辺規制
噴火予報	1	活火山であることに留意

### ■吾妻山の情報はここから■

- ①吾妻山周辺ライブカメラ(福島河川国道事務所HP)  
[http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/abukuma\\_live/live\\_sabou.html](http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/abukuma_live/live_sabou.html)
- ②吾妻山の火山活動状況(仙台管区气象台HP)  
<http://www.jma-net.go.jp/sendai/jishin-kazan/k-kaiset.htm>

### ※噴火警戒レベルとは

気象庁が、各火山の活動状況に応じて「警戒が必要な範囲」と「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する基準です。万が一の場合に、各防災機関が迅速に避難勧告等の対応をとり、噴火災害の軽減につながることを期待されます。

吾妻山  
防災訓練情報

## 関係機関合同で吾妻山火山防災訓練を行いました

平成28年10月27日、吾妻山の噴火に備え、迅速かつ的確な行動が図れるよう、関係機関合同（7機関、総勢56名）で「吾妻山火山防災訓練」を行いました。

本訓練は、吾妻山で突発的な水蒸気噴火が発生したと想定し、「学習型訓練」と呼ばれる形式で実施され、災害発生状況等の情報を与えた上で、「進行者」が対応について質問し、「訓練参加者」がそれに回答するという形で進められました。

本訓練を行ったことで、訓練参加機関全体の行動が確認でき、実際に災害が発生した場合の対応行動について、相互に確認できた有意義な訓練となりました。

【参加機関】磐梯山噴火記念館 佐藤副館長（火山専門家）、福島県、福島市、仙台管区气象台、福島地方气象台、東北地方整備局、福島河川国道事務所



→降灰調査  
訓練の様子

# 教えて、さぼちゃん！Part.7 どうやって土石流から町を守るの④？



**さぼちゃんクイズ5**  
セル式コンクリートスリットの筒の中にはセメントと何を混ぜたものが入っているのでしょうか。  
1.川の水 2.工事でた土 3.山の木

## ふとうかがたさぼうえんてい 不透過型砂防堰堤

土砂をためて溪流の勾配を緩やかにする働きや、土石流や流木をしっかりと受け止め一度に大量の土砂が下流に流れるのを防ぎます。

⇒ 管内には57基

## とうかがたさぼうえんてい 透過型砂防堰堤

普段は、川の水や土砂を自然な形で流しますが、大雨で流れてきた大きな石や流木はとらえます。川の流れをせき止めないので、水にすむ生き物などが自由に行き来できるという特色を持っています。

⇒ 管内には7基(工事中含む)

これまで砂防についていろいろと話をしてきたが、砂防に興味がいってきかなかったかな？

「砂防堰堤」で多くみられるのは「純コンクリート造(※)」とよばれるかたちなんじやが、今回は、その他の変わった砂防堰堤について紹介しよう♪



### 蟹ヶ沢第10砂防堰堤



構造: 異形コンクリートブロック積

◆コンクリートブロックを積み上げてつくられた堰堤です。管内では唯一のめずらしい構造です。

※「純コンクリート造」(高湯第1)



### 荒川第13砂防堰堤



構造: セル式コンクリートスリット

◆鋼鉄製の大きな筒の中には、工事現場で出た土とセメントを混ぜたものが入っています。管内では唯一のめずらしい構造です。

### 須川第2砂防堰堤



構造: コンクリートスリット  
◆堰堤にスリット(切れ目)が入っています。

管内では、袖川第1、須川第1、須川第2の3基がこの構造をしています。

### 塩の川第6砂防堰堤



構造: 鋼製スリット  
◆ジャングルジムのような形をした堰堤です。

管内では、不動沢第3(現在工事中)、塩の川第6、塩の川第7(現在工事中)の3基がこの構造をしています。

砂防堰堤にいろいろなかたちがあるのは、土石流などで流れてくる石や木の量・大きさ、また、工事の施工性や経済性を考慮して、その場所に合った砂防堰堤をつくっているからなんだった！



実際に土石流をとめた様子

写真提供: 土砂災害防止広報センター



## 出前講座

in 松川庁舎

庭坂小学校5年生53名が松川庁舎で出前講座を行いました。武田指導官から土砂災害について説明を受けた後、屋外で土石流模型実験を実施しました。



【出前講座の申込・問合せ先】 福島河川国道事務所 計画課(024-539-6132)

お問い合わせはこちら

(ご意見・ご感想  
・砂防に関すること)



国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14

TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL 024-591-1207

◆福島河川国道事務所HP( <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/> )も是非ご覧下さい◆

クイズの  
こたえ 2